

AIを活用したペルソナ未来予測分析等による人口減少対策の強化 (広島県福山市)

人口 463,324 人 (R4.1.1現在)
担当 企画政策課

取組概要

- 人口減少対策にペルソナマーケティング※の考え方を全国で初めて導入(民間人材を自治体で初めて兼業・副業で採用(戦略推進マネージャー)し、共に企画)
- 京都大学、株式会社日立製作所(日立京大ラボ)と連携して、ペルソナ「子育て中の共働き女性」の未来シミュレーションをAIを活用して2万通り実施し、30年後にペルソナの満足度を高める最適なシナリオを検討(全国初の共同研究)
- シナリオの実現に向けて、短期(10年)・中期(15年)・長期(25年)の分岐点までに改善しておくべき要因を導出し、必要な施策を強化

※一定の属性を持った個人の類型に即したマーケティング手法

取組の効果

重点的に強化する取組の方向性が明確化(取組の選択と集中が可能に)

⇒短期の分岐点までに必要な施策を強化

・強化した主な事業・・・

男性の育児休業取得支援, 子育てパパ活躍ウィークの実施,

子ども食堂やフリースクールの活動支援,

ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」を商業施設で再開 など

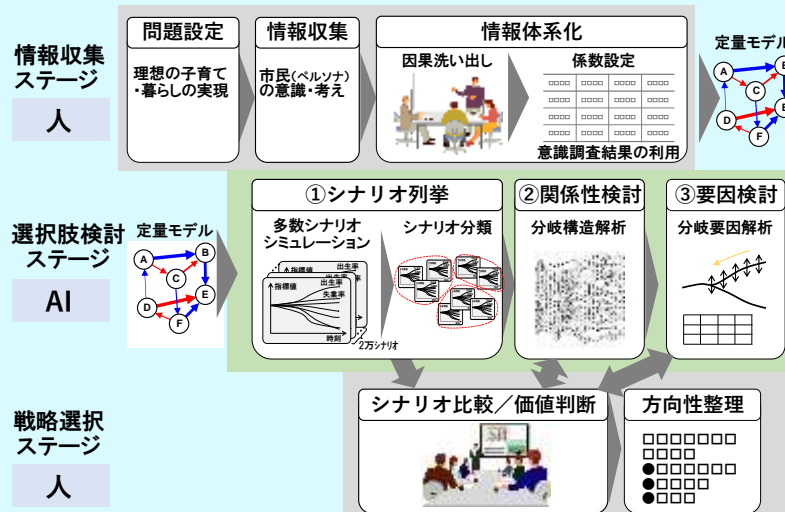
⇒既存事業の見直し, 再構築

創意・工夫した点

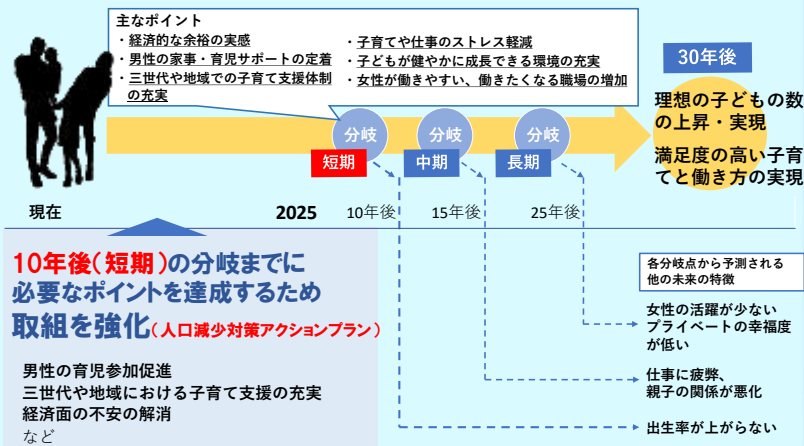
- 人口減少対策に民間で活用されるマーケティング手法を導入
- 大学・民間のAIを活用した未来シミュレーション手法と、行政の取組を連携
- 当手法の活用により、ペルソナの意識や考えの相関を分析

他団体へのアドバイス

- 本市では、施策構築に外部視点を取り入れるため、民間人材を兼業・副業で採用するなど、外部視点・技術を積極的に取り入れています。
- 「自前主義」からの脱却により、新たな発想や施策構築につながるヒントが得られています。



シミュレーションのフロー



人口減少対策アクションプランに反映